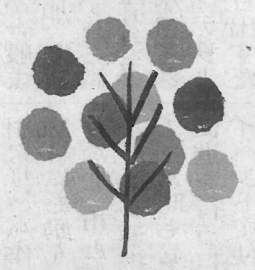


柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 742-0022
 (株)柳井日日新聞社
 編集発行人 友座 泰
 電話 0820-22-0758
 FAX 0820-22-2775
 購読料1ヶ月1,512円
 (郵送 1,620円)
 振替口座01550-3-005438
 《火・木・土曜日発行》



柳井市柳井5275
 Phone(0820)22-0757

柳井市人口・世帯数 (12月末現在)

●世帯数	15,266(+9)
●人口	29,683人
●男性	13,870人
●女性	15,813人
●前月比	(-11人)
●外国人	275人

歳末たのしみ
 ボイスカウト柳井第3団
 ボーイスカウト柳井第3団(桑原真長、38人)は12月柳井市役所を共同募金委員会井原健太郎市長助け合い募金を同団は、12月市内南町のショウグセンター・ゆが柳井で募金活動。スカウトやから12人が参加し、出入口に立ち、募金を呼びかけた。この日は、桑原真長と横山君江1隊長、渡邊ボーイ隊長、浦小4年と渡君熊毛南高校、5人が市役所を沖永さんが「募ってきましょう」使ってほしい」市長に持参した。

四半世紀続く、白壁火の用心

古市金屋地区 年末夜回り 地元住民や中学生ら50人参加



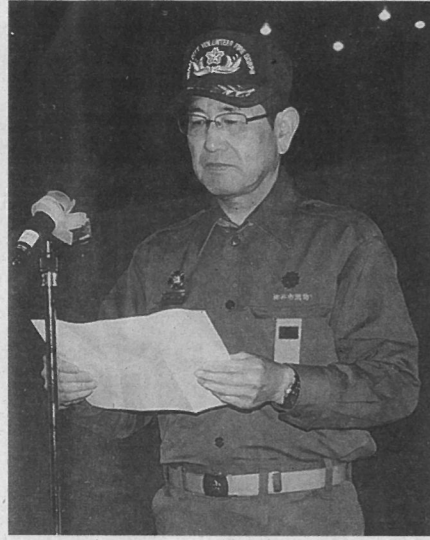
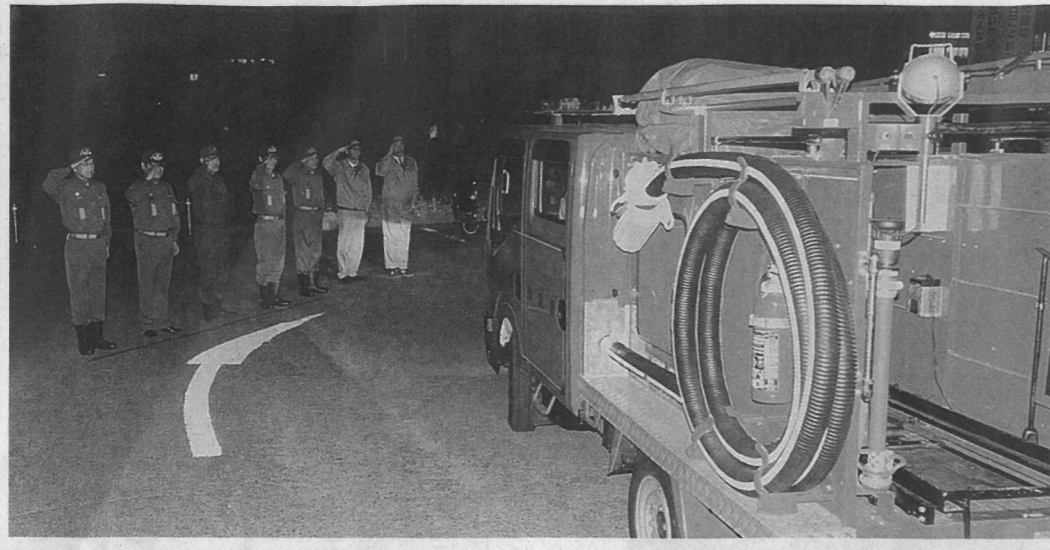
柳井市白壁の町並みを守る会(木阪泰之会長)は12月28、29日夜、市内古市金屋地区の白壁通りなどで、毎年恒例の「年末夜回り」を実施。地元住民や柳井中の生徒など、2日間でのべ50人が参加し、拍子木を打ち鳴らしながら、電飾金魚ちようちんを手に、「火の用心」を連呼した。金屋自治会(山近俊爾会長)と共同開催。

尾林邸倉庫を本部に、白壁の町並み周辺と、むろやの園周辺の2コースに分かれ、参加者たちは、LED電球を灯した手提げ金魚ちようちんを手に、拍子木を打ち鳴らし、「火の用心、マッチ一本、火事の元、気を付けて、火事はあなたの、気のゆるみ」などと連呼しながら地区内約600メートルのコースを歩いて防火を呼びかけた。今回の夜回りには、昨年同様、柳井中学生徒がボランティア活動の一環として、参加を希望した30人が体験。初日に参加した古川璃子さん(15・3年)は、地元安全のため、そして大好きな柳井のために何か役に立ちたいと初めて応募した」と語り、世木陸斗君(同)も「地域が盛り上がるためには子供の元気が必要だ」と思い、この活動に参加したと話し、住民と一緒に火の用心を呼びかけながら、白壁の町並み周辺を巡回した。(写真は白壁の町並みであった初日28日の出陣式で掛け声をかける住民や中学生たち。下は金魚ちようちんを手に白壁の町並みを歩く参加者たち)

全団員一丸で防火活動を

柳井市消防団 年末特別警戒出発式に100人参加

柳井市消防団(藤川祐治団長、395人)の年末特別警戒の出発式が12月28日夜、市役所駐車場で行われた。団本部と各分団の代表者が一同に会しての出発式と管轄区域での警戒活動を行い、年末年始の火災予防の一層の強化を図ろうと、令和4年度から団統一で実施している。この日の出陣式には、市内9分団のうち、平郡分団を除く、8分団と団本部の関係者約100人が参加。藤川団長は「消防団は、柳井地区広域消防組合と力を合わせ、常に消防力の向上を目指さなければならず、団員はこれらの活動を自信をもって臨んでほしい。今日は年末の特別警戒活動で、令和5年の締めくくりとして、全団員が一丸となり、事故のないように取り組んでほしい」と訓示した。



続いて、河原憲治総務部長と柳井消防署の藤重浩副署長がいさつした後、団員は各団の消防車両14台に乗り込み、藤川団長らの見送りを受けながら出発。送りを呼びかけながら地区内を巡回した。(写真は藤川団長らの見送りを受け、防火パトロールに出発する消防車両。下は出発式で訓示する藤川団長)

柳町自治会



柳町自治会(会長、90世帯)は12月、柳井駅前年末夜警を行った。この年末夜警内の防火、防災にようと、50年以上始まり、一時中断したが、駅前で発生火を機に、約30年自治会の恒例行で復活して実施。新型コロナの3年間は中止し、りとなる今回の夜地元商店主や住8人が参加し、午から同11時まで間の間に、3回の

年末夜警

柳町自治会(会長、90世帯)は12月、柳井駅前年末夜警を行った。

藤田早苗

1月31日 国際人権の専写真家の藤田早苗による講演会「思いやりは別物」31日(水)午前9時正午まで、平根の曾根地域交ターで行われる。藤田さんは、セックス大学法権センターフェして、英国に在住人権に関する